

アジアとつながり、発展しつづける ～福岡空港・北九州空港～

福岡県には、都心からのアクセスの良さが特長で、国内外に多くの路線を展開し、日本有数の空港となった「福岡空港」、24時間利用が可能な海上空港という特性を生かし、早朝・深夜便や大型貨物専用機が就航する「北九州空港」があります。

県では、福岡・北九州両空港の特色を生かし、両空港の役割分担と相互補完を進めながら九州のゲートウェイ(玄関口)としての利便性を高め、福岡県、九州全体の発展に寄与することを目指しています。

そして、今年4月、福岡空港は民間委託による運営が始まります。今回は、今後も増加し多様化する航空需要に対応するため、日々発展しつづける福岡・北九州両空港の魅力についてお伝えします。

福岡空港

●国際線年間旅客数は国内空港でついに第4位に!

国内線は26路線、国際線は20路線と多様な路線を有しており、旅客数も年々増加しています。

◆LCC(格安航空会社)が相次いで新規就航!

海外がもっと身近になります!

バンコク(タイ)線/2月就航

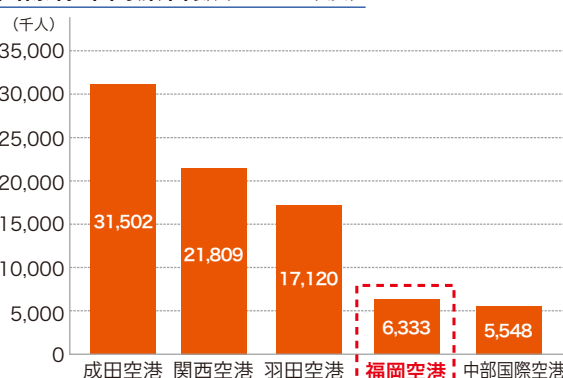
クアラルンプール(マレーシア)線/3月就航

◆九州唯一の欧州直行便

欧州各地への乗り継ぎも便利です!

ヘルシンキ(フィンランド)線/3月末～10月の夏季運航

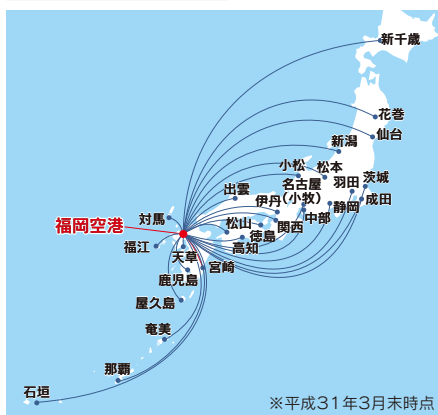
国際線年間旅客数(2017年度)



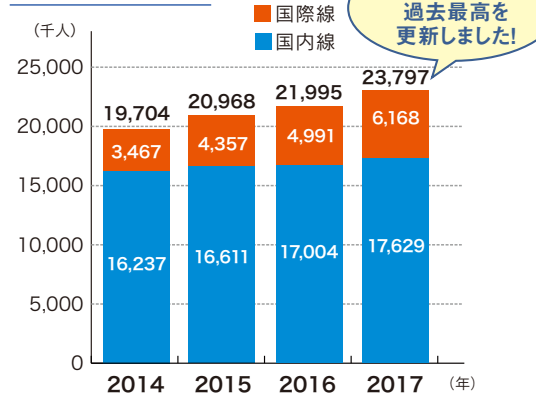
就航路線(国際線)



就航路線(国内線)



福岡空港旅客数



資料:国土交通省「空港管理状況調査」

●さらなる機能強化を進めています!

滑走路が1本の空港としては、発着回数第1位の福岡空港。そのため、滑走路増設事業などの機能強化を進めています。2020年国内線ターミナルのリニューアルに伴い、より多くの飛行機が離発着できるようになるため、朝夕ピーク時間の遅延や混雑の緩和、さらに国際線ネットワークの拡充が期待されます。



2本目の滑走路(2025年3月完成予定)



国内線ターミナルリニューアル(2020年1月全体完成予定)